MAGNALOCK®
テンキーパッドコントローラー　DK-26SS　取付け・取扱説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。取付作業前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
取り付け後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- テンキーパッド部と制御部が分かれているため、制御部を安全性の高い場所に設置できます。
- テンキーでの設定変更操作を不能に設定できるため、不正行為のリスクを軽減できます。
- テンキーパッド部を破壊しても扉を解錠することは出来ません。
- テンキーパッド部はステンレス製で、屋外にも設置できます。
- 本機のリレー接点を用いて照明や警報などの外部機器を連動させることができます。

仕　様

電圧	ACまたはDC 12 V/24 V
電流	作動時160 mA　待受時　7 mA(12 V時) 作動時190 mA　待受時 20 mA(12 V時)
出力接点容量	30 V　2 Aまで
出力時間	1秒 ～ 99秒
使用温度範囲	-30℃ ～ +70℃

部品一覧

テンキーパッド本体

制御ボックスまでの電線
22 AWG×12芯 4.8 m付き

1台

制御ボックス

1台

・皿タッピンねじ	光沢クロメート	（テンキーパッド固定用）	2ケ
・皿タッピンねじ（特殊頭）	ステンレス	（テンキーパッド固定用、工具があれば下側に使用）	1ケ
・バインドタッピンねじ	光沢クロメート	（制御ボックス用）	4ケ
・ステッカー（SECURITRON　DK-26）		（テンキーパッドねじ穴隠し用）	1枚
・シール（無地）		（テンキーパッドBELL表示隠し用）	1枚
・バリスタ			1ケ

用語の説明

ハードコード	制御ボックスの[Hard Cord]ボタンを押して登録する2～7桁の解錠用暗証番号
プログラムコード	各種設定をテンキーパッドで行うための5～7桁の暗証番号
ユーザーコード	ユーザーが解錠するために入力する2～7桁の暗証番号
合証	登録されたハードコードまたはユーザーコードがテンキーパッドに入力された状態

正しく安全に施工していただくために

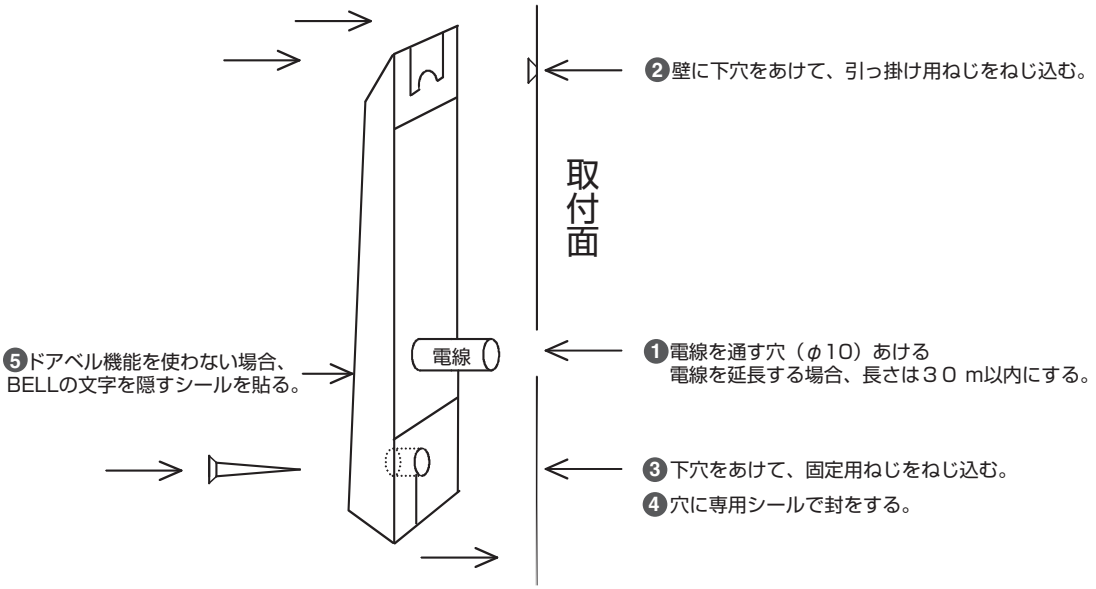
図記号の意味

警告 注意	禁止	厳守

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- 制御ボックスは高温多湿でないところに設置してください。
- テンキーパッドから制御ボックスへの電線は 30 m 以内にしてください。
- AC100 V には接続しないでください。破損します。
- 「テンキーでの設定変更を不能にする」運用を行う場合、設定変更の際に制御ボックスの内部ボタンを押した後、30 秒以内にテンキーを操作する必要があります。制御ボックスの設置場所は、このことを考慮し、決定してください。
- 「テンキーでの設定変更を不能にする」運用を行う場合、テンキーでハードコード（P.5 参照）以外の設定や変更ができます。制御ボックスとテンキーを仮接続してプログラムコードの登録まで行えば、制御ボックスを操作しづらい場所に設置しても運用上の支障はありません。

テンキーパッド部の設置



結　線

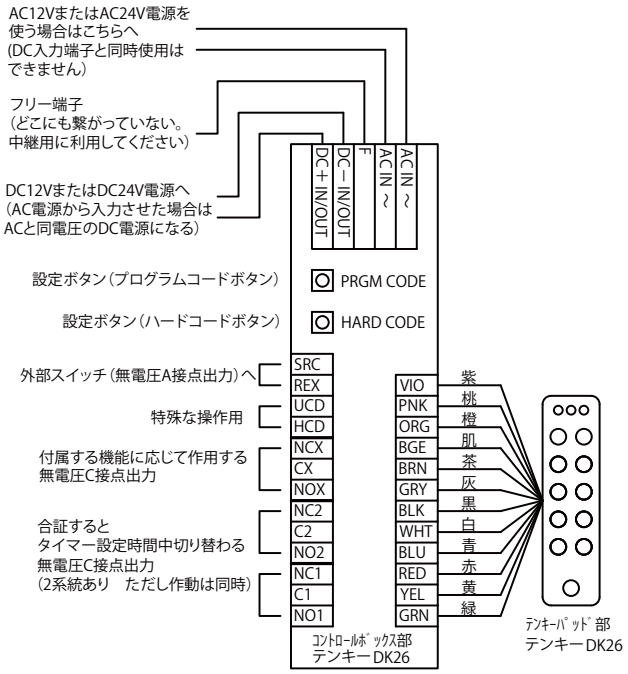
【1】テンキーパッド部

テンキーからの電線 12 本は制御ボックスの端子に色を合わせて接続してください。（図２）

【2】電源

電源が DC 12 V または DC 24 V の場合は DC 入力端子へ接続してください。
AC 12 V または AC 24 V の場合は AC 入力端子へ接続してください。AC 電源使用の場合は、DC 入力端子は DC 出力端子に変わり、補助電源として使えます。
（図 2）

（図 2）コントロール部の端子用途

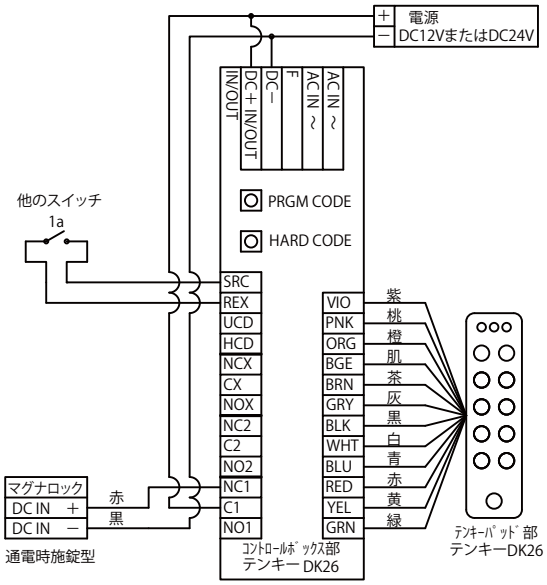


SUGATSUNE

【3】出力　NO1-C1-NC1 端子
NO2-C2-NC2 端子

合証するとタイマー設定時間中切り替わる無電圧 C 接点出力を 2 系統設けています。
ただし２系統とも同時に同じ動作をします。個別に作動させることはできません。
接続例を参考にしてください。（図３、図４）

（図 3） マグナロックを直接制御する場合



【4】外部スイッチ（他の操作スイッチ）

（図３参照）

併用するスイッチは無電圧 A 接点出力を用い、SRC 端子と REX 端子につないでください。
通常ワンショットで働きますが、メイクしている間はタイマーに関係なく合証中となります。
ブレイクしたあとタイマー時間終了まで合証中となります。
合証中はテンキーの合証 LED も点灯します。
この機能は場合によって連続解錠として使うこともできます。

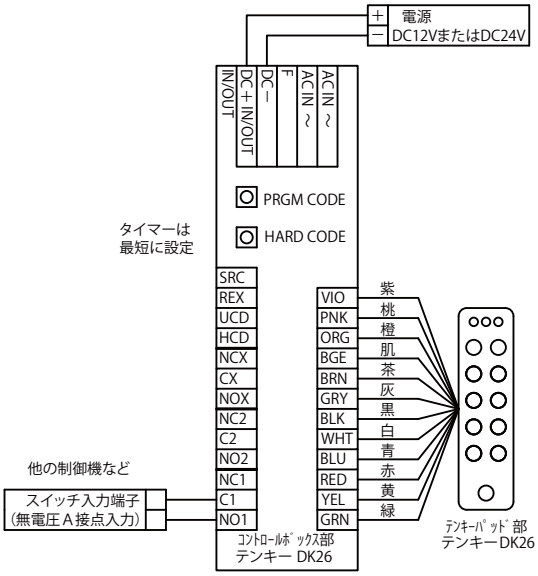
【5】付属機能

NCX、CX、NOX の無電圧 C 接点出力は、設定の切替で６通りの機能があります。市販の相当する機器に接続して利用できます。
詳細は８ページ「機能設定メニュー 75 ～ 78、82、83」参照。

HCD,UCD 端子は設定の切り替えで追尾侵入防止機能、（ドアスイッチ併用で）開け放し感知機能があります。
詳細は８ページ「機能設定メニュー８０～ 83」参照。

工場出荷時は何も設定されていません。

（図 4）他のシステムのスイッチとして使う場合



【6】その他

サージ電流対策用にバリスタが付属しています。
使う場合はできるだけ電気錠に近いところに接続してください。
マグナロックの場合には特に必要ありませんが、付けることによる障害もありません。

1 コードの運用方法を決める

［運用 A］テンキーでの設定変更を不能にする方法。

テンキーで暗証番号や設定の登録変更する際に、必ず制御ボックス内のハードコードボタンあるいはプログラムコードボタン操作を経由させる方法。制御ボックスにアクセスしない限りコードを変更できない、セキュリティ重視の運用っ方法です。

［運用 B］テンキーでの設定変更を可能にする方法

プログラムコードを登録し、テンキーだけで登録・設定ができる利便性重視の運用方法です。

2 登録上の注意

●登録可能なコード桁数

ハードコード　　：２～７桁
プログラムコード　：５～７桁
ユーザーコード　　：２～７桁

●番号を入力するときは、５秒以内の間隔で押してください。それ以上経つとその時点までの番号での入力が完結します。

●登録済コードの一部から成るコード（例：13358 に加え、335）を登録することはできません。
これは本機が異なる桁数のコードを扱うにあたり誤作動を防止するための機能が働くためです。具体的には 13358 に加え 335 の登録を許してしまうと、13358 のつもりで 1335 まで入力したとき 335 と合証してしまい 13358 が使えなくなるためです。13358 がプログラムコードの場合、大きな問題になります。
従って、本機では 13358 の登録後その一部から成る 335 の登録操作を行うと、13358 も 335 も消去されるようになっています。この時、登録成否を示す赤 LED は２回ではなく１回しか光りません。

●赤 LED の光り方で登録の成否が判ります。

登録成功：　２回光る
登録失敗：　１回光る

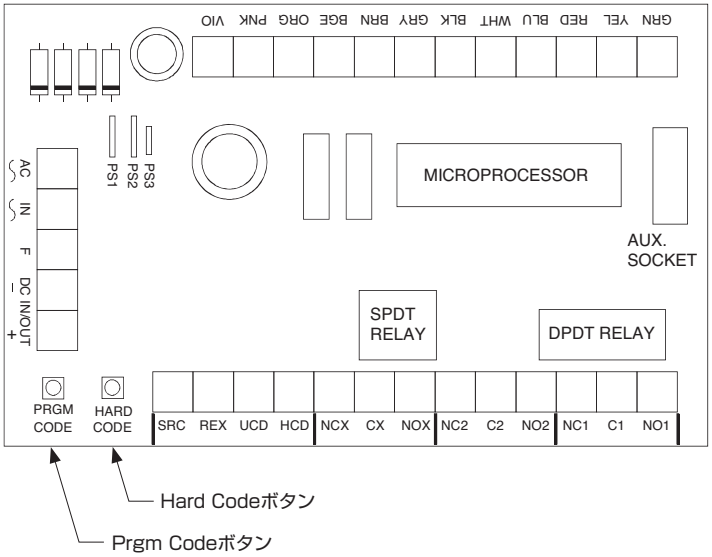
●登録した内容は電源を落としても消えずに残ります。

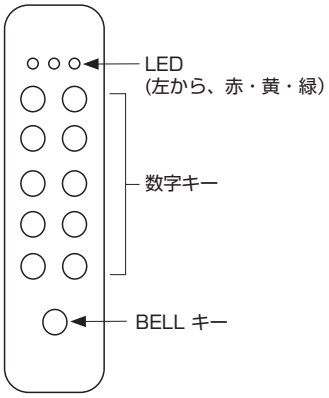
●登録した暗証番号を本機から読み取ることはできません。必ず控えを残すようにしてください。

3 コードの登録

【1】使用するボタン・LED の配置

制御ボックス





【2】ハードコード

❶ 電源を入れる　⇒　黄 LED が点灯。
点灯しない場合、何らかのコードがメモリーに残っていることを示します。
ハードコードのみで運用する場合、プログラムコードとユーザーコードを
消去する操作をしてください。（P.7 参照）

❷ 制御ボックスの [Hard Cord ボタン] を１秒押す　⇒　黄 LED がゆっくり点灯
❸（30 秒以内に）２～７桁のハードコードを入力　⇒　５秒後に、赤 LED が２回光り、登録終了
❹ 念のため、ハードコードを入力して作動する（扉が開く）ことを確認
◆ハードコード登録でのみ使える機能（設定７５）があります。

【3】プログラムコード（ハードコード以外にユーザーコードを登録する場合）

[運用 A] の場合
❶ 制御ボックスの [Prgm Cord ボタン] を１秒以上押す　⇒　黄 LED が早く点滅
❷ 点滅している 30 秒以内に、**【4】**ユーザーコード登録へ

[運用 B] の場合 (プログラムコード（５～７桁）をあらかじめ決めておいてください)
❶ 制御ボックスの [Prgm Cord ボタン] を１秒以上押す　⇒　黄 LED が早く点滅
❷（30 秒以内に）[0][0] に続けて、５～７桁のプログラムコードを入力
⇒　５秒後に、赤 LED が２回光り、黄 LED が速く点滅
❸ 続けてユーザーコード登録をする場合、点滅している 30 秒以内に**【4】**ユーザーコード登録へ
❸' いったん終了する場合は、30 秒待つか、[BELL] を押して終了。

◆プログラムモードへの入り方

本書では、ハードコード以外のコードの登録・機能設定を行うための入力待ち（黄 LED が速く点滅している）状態を「プログラムモード」と表記します。プログラムモードへの入り方には以下の２通りがあります。

[運用 A] の場合

[Prgm Cord ボタン] を１秒以上押す

[運用 B] の場合

登録したプログラムコードに続けて [BELL] を押す。

プログラムモードを終了するには、３０秒待つか、[BELL] を押してください。

【4】ユーザーコード

（ 前項【3】からの続きの場合、②から開始）

❶ プログラムモードに入る。（上の枠内を参照）
❷ ２桁のアドレス（01 ～ 59 まで複数を登録可）に続けて、
２～７桁のユーザーコードを入力。
⇒　５秒後に赤 LED が２回光り、黄　LED が速く点滅
❷' 他のユーザーコードも登録する場合は、３０秒以内に上の作業を繰り返す。
❸ ３０秒待つか、[BELL] を押してプログラムモードを終了する。
❹ 念のため、ハードコードを入力して作動する（扉が開く）ことを確認する。
（上記【3】からの手続きの場合は、念のため、プログラムコード +[BELL] で、プログラムモードに入れる
（黄 LED が速く点滅する）ことを確認する　⇒　[BELL] を押してプログラムモードを終了する。

⚠ 注意
２桁のアドレスの入力を忘れると、意図しないコードが登録されてしまいます。（4512 のつもりが、アドレス 45 にコード１２が登録される）

4 コードの変更

【1】ハードコードの変更

上記 3 -【2】ハードコードの登録と同じ手順で、コードを上書きする。

【2】プログラムコードの変更

❶ プログラムモードに入る。　⇒　黄 LED が早く点滅
❷ [0] [0] に続けて、２～７桁の新しいプログラムコードを入力
⇒　５秒後に、赤 LED が２回光り、黄 LED が速く点滅
❸ ３０秒待つか、[BELL] を押してプログラムモードを終了する。
❹ 念のため、新しいプログラムコードでプログラムモードに入れる（黄 LED が早く点滅する）ことを確認する。
３０秒待つか、[BELL] を押してプログラムモードを終了する。

【3】ユーザーコードの変更

❶ プログラムモードに入る
❷ ２桁のアドレス（01 ～ 59）に続けて
２～７桁の新しいユーザーコードを入力。
⇒　５秒後に、赤 LED が２回光り、黄 LED が速く点滅
❸ ３０秒待つか、[BELL] を押してプログラムモードを終了する。

⚠ 注意
２桁のアドレスの入力を忘れると、意図しないコードが登録されてしまいます。（4512 のつもりが、アドレス 45 にコード１２が登録される）

5 コードの消去

【1】ハードコードの消去

❶ 制御ボックスの [Hard Cord ボタン] を押す　⇒　黄 LED がゆっくり点灯
❷ そのまま 30 秒待つか、[BELL] を押す　⇒　黄 LED の点滅が止まり、赤 LED が２回光る

【2】プログラムコード消去

❶ プログラムモードに入る。　⇒　黄 LED が早く点滅
❷ [0] [0] を押して５秒待つか、[BELL] を押す　⇒　赤 LED が２回光る
⇒ 30 秒待つか、[BELL] を押してプログラムモードを終了する

【3】ユーザーコードの消去

❶ プログラムモードに入る。　⇒　黄 LED が早く点滅
❷ ２桁のアドレス（01 ～ 59）を押して５秒待つか [BELL] を押す　⇒　赤 LED が２回光る
⇒ 30 秒待つか、[BELL] を押してプログラムモードを終了する

【4】全てのユーザーコードの一括消去

❶ プログラムモードに入る。　⇒　黄 LED が早く点滅
❷ [8] [8] を押す（[BELL] は不要）　⇒　赤 LED が２回光る
⇒ 30 秒待つか、[BELL] を押してプログラムモードを終了する

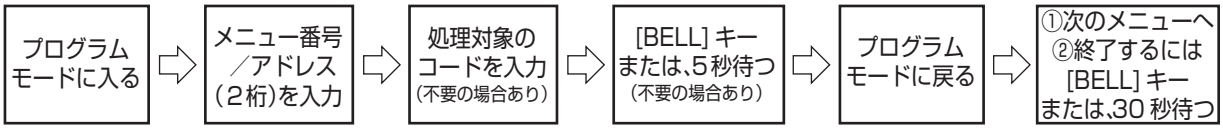
6 解錠時間の変更

❶ プログラムモードに入る。　⇒　黄 LED が早く点滅
❷ [9] を押す。
❸ 解錠時間（１～ 99 秒）を２桁で入力する。（７秒は [0] [7]、25 秒は [2] [5]）
・いわゆるワンショットとするには１秒を設定する。
・トルグモード（一度合証させて解錠しもう一度合証させるまでそのまま解錠）するには [0]　[0] を入力
❹ ５秒後に赤 LED が２回光り、黄 LED が速く点滅
❺ 30 秒待つか、[BELL] を押してプログラムモードを終了する

7 機能設定メニュー

【1】基本パターン

既に説明したプログラムコードやユーザーコードの登録を含め、コード登録や機能設定の基本パターンは以下の通りです。
（ハードコードについては手順 3 4 参照）



【2】設定メニュー一覧

メニューグループ	メニュー番号	メニュー番号に続けて入力するコード	入力後の行動	機能説明　他
プログラムコード登録	00	プログラムコード（5～7桁）	[BELL]キーまたは5秒待つ	
プログラムコード消去	00	無し		
ユーザーコード登録	01～59	ユーザーコード（2～7桁）		01～59は各ユーザーコードの格納場所の番号
ユーザーコード消去	01～59	無し		
音の選択（三者択一）	70	無し	不要	キー操作音に加え、合証中に警告音が出るようになる
	71			音がいっさい出なくなる
	72			キー操作音のみが出る（工場出荷時の設定）
リレー機能の設定（四者択一） リレーNCX、CX、NOX接点が連動する（メニュー81～84との併用不可）	75	無し	不要	ハードコード連動：ハードコードで解錠したときだけリレーが働く（緊急事態であることを密かに知らせる）
	76			無効コード入力連動：無効な番号ばかり16桁入力された時にリレーが働き、別室への警報などに利用できる。（この設定とは関係なく、16桁の無効コードに対しては警告音を発して30秒間入力を受付けなくなる）
	77			照明連動：いずれかのキーを押した後5秒間リレーが働く。（5秒以内に合証した場合はその時点でリセットされる）
	78			呼び鈴連動：ベルキーを押している間リレーが働く。（工場出荷時設定）呼び鈴に利用
ユーザーコードで消去（コードで指定）	79	ユーザーコード（2～7桁）	[BELL]キーまたは5秒待つ	格納場所の番号ではなく、コードそのものを入力してユーザーコードを消去する。
HCD/UCD端子機能（メニュー75～78との併用不可）	80	無し	不要	追尾侵入防止：ドアスイッチをSRCとHCD（またはUCD）端子に接続。設定したタイマー時間内でも扉が閉じられれば（ドアスイッチが閉じれば）施錠（NC～Cがメイク）する。（HCD端子を使うときメニュー番号80、UCD端子のとき81で設定）
	81			
	82			開け放し感知：ドアスイッチをSRCとHCD（またはUCD）端子に接続。設定したタイマー時間を過ぎても扉が閉じられない（ドアスイッチが閉じない）とCX～NOXがメイクする。（HCD端子を使うときメニュー番号82、UCD端子のとき83で設定）
	83			
	84			メニュー番号80～83の設定を取り消す（工場出荷時設定に戻す）
ユーザーコード全消去	88	無し	[BELL]キーまたは5秒待つ	ハードコード、プログラムコードは消去されません。
工場出荷時設定に戻す	89			ハードコード、プログラムコード、ユーザーコードは消去されません。
解錠時間の設定（工場出荷時設定は5秒）	9	01～99（秒）		00を入力すると、（施解錠が）トグルモードになる。

ユーザーが行う操作と本機の反応	補足説明
●解錠操作 ユーザーコードを入力する。 （各キーは５秒以内の間隔で入力） ↓ キーを押すごとに操作音が鳴り、緑LEDが一瞬点灯する。 ↓ 合証後、赤LEDが点灯する。 ↓ タイマー設定時間が終わるとリレーが戻り、赤LEDが消える。	合証するとタイマー設定時間（工場出荷時設定５秒）中 リレー接点C1-NO1、C2-NO2がメイク、C1-NC1、C2-NC2がブレイクし、その間赤LED(設定73にすると緑LED)が点灯します。 （設定70にすると、その間警告音も鳴り続けます。）
●誤った暗証番号を入力した場合 ↓ 15桁までエラーは起きない。 15桁以内であれば、有効なユーザーコードが入力された時点で合証する。	
●無効な番号ばかり16桁入力されると ↓ 警告音が鳴り出し30秒間操作不能になる。 （この間緑LEDが点灯） ↓ 30秒が過ぎれば通常の待ち受け状態に復帰する。	これは、当てずっぽうに番号を入力して侵入を試みを断念させるための機能です。 音の設定（メニュー71）で警告音を鳴らさないようにできますが、このときも30秒間は操作不能になります。
●呼び鈴機能 呼び鈴を接続すれば、[BELL]キーを押している間 呼び鈴が鳴る。	BELLキーは制御部NCX、CX、NOX端子（C接点）に連動します。（工場出荷時設定78）押し始めに操作音が一瞬出て緑LEDが一瞬点灯します。押し続けている間、CX、NOXがメイクします。 他のリレー機能（メニュー番号75～77、80～84）との併用はできません。

ユーザーコード表

アドレス	ユーザーコード	アドレス	ユーザーコード	アドレス	ユーザーコード
01		21		41	
02		22		42	
03		23		43	
04		24		44	
05		25		45	
06		26		46	
07		27		47	
08		28		48	
09		29		49	
10		30		50	
11		31		51	
12		32		52	
13		33		53	
14		34		54	
15		35		55	
16		36		56	
17		37		57	
18		38		58	
19		39		59	
20		40			

●登録した暗証番号を本機から読み取ることはできません。必ず控えを残すようにしてください。
●コードを部外者に知られないよう注意して管理してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお願いいたします。

電話番号 03(3864)1122
受付時間　月～金　9:00～17:30（年末・年始・夏季休暇等は除く）
FAX 03(3863)6875
E-mail：support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10　〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー
ISO 9001(JSAQ384)・ISO14001(JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点　※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
http://www.sugatsune.co.jp/

2017.03　0930-2